

# 県内老人介護支援センターの現状に関するアンケート調査

香川県老人福祉施設協議会  
老人介護支援センター部会

## ○目的

平成18年の介護保険法改正により、各市町単位での地域包括支援センター設置義務化から17年が経ちました。これまで、老人介護支援センターが担ってきた機能の多くが、地域包括支援センターに移行したことに伴い、香川県老人福祉施設協議会の老人支援センター会員数も、40施設から32施設(準会員含)へと減少し、各老人介護支援センター同士の繋がりも希薄化しています。

老人介護支援センター部会では、各老人介護支援センターの現状を把握し、今後の活動について検討するために標記アンケート調査を実施します。

## ○調査対象

香川県老人福祉施設協議会 老人介護支援センター 会員 32施設(準会員含)

## ○調査期間

令和5年12月7日(木) ~ 令和5年12月22日(金)

## ○調査方法

原紙を郵送し、FAX またはメールにて回答していただく。

調査票に関しては、ホームページへアップロードし、ダウンロード可能とする。

## ≪用語説明≫

※1 老人介護支援センターとは、高齢者やその家族が身近なところで専門職による相談・援助が受けられるように、1989(平成元)年から整備がすすめられた施設です。地域の高齢者やその家族の福祉向上を目的に、小地域に根ざした相談支援や地域の実態把握、関係機関等との調整、ネットワークづくり等の取組みが進められましたが、介護保険制度の導入や地域包括支援センターの創設により、その機能の多くは、地域包括支援センターへ移行しました。

※2 介護保険法に基づき、要介護認定を受けた人が自宅で介護サービスなどを利用しながら生活できるように支援する事業所です。介護支援専門員(ケアマネジャー)が居宅介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、そのプランに基づいて介護保険サービス等を提供する事業所等との連絡・調整を行っています。

※3 地域包括支援センターとは、平成18年の介護保険の改正により、設置された施設です。市町村が設置主体となり、日常生活圏域(概ね人口2~3万人に1か所)への設置が推進され、すべての市町村に1か所以上設置されています。地域包括支援センターには、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等が配置され、総合相談支援業務、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメント等の取組みが行われています。

ランチとは、住民の利便性等を考慮し、地域住民からの相談を受け、集約したうえで、地域包括支援センターへつなぐための窓口です。

## 問1. 回答者について

市町名	
支援センター名	
回答者氏名	
回答者役職	

## 問2. 基本情報

(1)運営主体について該当する項目を1つお答えください。

- 社会福祉法人  
医療法人  
社協  
自治体  
その他( )

(2)区分について該当する項目すべてについてお答えください。

- 老人介護支援センター※1  
居宅介護支援事業所※2  
地域包括支援センター(ブランチ)※3  
その他( )

(3)貴センターの職員数についてお答えください。

- 全体( )人  
内、専任( )人  
内、兼任( )人  
(兼任業務: )

(4)職員の有している資格について該当するものをお答えください。(複数回答可)

- 社会福祉士  
精神保健福祉士  
介護支援専門員  
介護福祉士  
看護師  
保健師  
その他( )

(5)営業日(開所日) \_\_\_\_\_曜日 ~ \_\_\_\_\_曜日

(6)営業時間(開所時間) \_\_\_\_\_時 \_\_\_\_\_分 ~ \_\_\_\_\_時\_\_\_\_\_分

(7)24時間対応

あり

(方法: \_\_\_\_\_ )

なし

### 問3. 運営経費について

(1)老人介護支援センターとして、行政と委託契約を結ぶ場合の委託料について、差支えなければお答えください。

委託金額 : \_\_\_\_\_ 円

(2)行政からの委託業務の運営費の財源として、該当する項目をすべて選択してください。(複数回答可)

(老人介護支援センターとしての)行政からの委託料

(地域包括支援センター・ブランチとしての)行政からの委託料

居宅介護支援事業所としての介護報酬

運営主体からの繰入れ

その他( \_\_\_\_\_ )

(3)独自事業の運営費の財源として、該当する項目をすべて選択してください。(複数回答可)

居宅介護支援事業所としての介護報酬

運営主体からの繰入れ

その他( \_\_\_\_\_ )

#### 問4. 業務内容について

(1)貴センターの取組状況についてお答えください。(複数回答可)

業務内容ごとに、該当する項目(実施している、必要性は感じているが実施できていない、実施していない)のいずれかを選択し、○を付けてください。また、実施している場合は、具体的にどのようなことを実施しているか記載してください。

番号	業務内容	実施している	「実施している」に○をつけた場合、 具体的な実施内容について教えてください。 (自由記述)	実施していない(必要性を感じていない)	必要性は感じているが、実施できていない
1	相談支援に関わること				
2	高齢者の実態把握に関わること (高齢者宅への訪問やニーズ調査など)				
3	ネットワークづくりに関わること(相談協力員や福祉委員、民協との協力など)				
4	関係機関との調整に関わること				
5	講座の実施に関わること(高齢者支援推進事業又は介護教室、出前講座など)				
6	ボランティアの養成やマッチングに関わること				
7	介護保険外の福祉サービスの実施に関わること(配食サービスや移動支援など)				

8	住民主体の活動支援に関わること				
9	介護保険や福祉サービスの手続きの代行に関わること				
10	福祉や生活に関する広報啓発活動に関わること				
11	その他				

(2)問4の(1)で、「実施している」と回答した業務のうち、課題と感じていることがあれば教えてください。

該当番号	課題と感じていること(自由記述)

(3)問4の(1)で、「必要性は感じているが実施できていない」と回答した業務のうち、実施が難しい理由や、実施にあたり課題と感じていることがあれば教えてください。

該当番号	実施が難しい理由や、実施にあたり課題と感じていること(自由記述)

## 問5. 課題・改善点

貴センターが、現在の業務・運営で課題に感じていることや改善したいことについて、該当するものをすべて選択してください。(複数回答可)

- 行政との連携
- 地域包括支援センターとの連携
- 地域のネットワークづくり
- 災害時の対応
- 運営資金の確保
- 人材の確保・育成
- 困難ケースへの対応
- その他( )

## 問6. 取組みの工夫について

貴センターの取組みの工夫について、自由にご記入ください。(自由記述)

## 問7. 今後必要だと感じていることについて

老人介護支援センター職員のスキルアップに必要だと思われることについて、特に必要だと思われるものを3つ選択してください。

- 研修に参加する機会、研修の充実  
(希望する研修内容を教えてください: )
- 他センターとの情報交換の場
- 他の職種や業種との情報交換の場  
(どのような職種や業種と情報交換したいですか?: )
- 上司や同僚からのスーパーバイズ
- 事例検討会
- 人員体制や予算の確保による体制整備
- どのようにすればよいかわからない。
- 必要性を感じていない。
- その他( )

---

質問は以上となります。お忙しい中アンケートにご回答いただきありがとうございました。  
回答いただきましたアンケートについては、下記アンケート送付先まで FAX またはメールでお送りくださいますようお願いいたします。

《アンケート送付先》

香川県老人福祉施設協議会 事務局 (池西・福田)

FAX : 087-861-2664

Mail : roushikyo@kagawaken-shakyo.or.jp